

ロンドン、2018年5月30日

## 中国の江蘇中広潤社向け銅棒圧延機を供給元のサウスワイヤから受注

- ・ 新型プラントで生産量を拡大
- ・ 増加する ETP 銅の需要に対応
- ・ 2019 年の半ばに生産開始予定

プライメタルズテクノロジーズ (Primetals Technologies) は、中国の江蘇中広潤社 (江蘇中広潤新素材技術有限公司 : ZGR) 向けの銅棒圧延機 SCR-7000 を、供給元となる米国のサウスワイヤ社 (Southwire Company, LLC) から受注しました。新設される銅棒圧延設備は、増加する需要に対応するため中国・江蘇省の宜興市に設置され、生産開始は 2019 年の半ばを予定しています。

宜興市を拠点とする ZGR は、2012 年に同社として初号機になる SCR-4500 をサウスワイヤ社から購入していました。ZGR は銅導線の開発、製造、販売の専門メーカーで、電気通信、電気、電子、自動車、航空宇宙およびその他の産業の最終製品用として幅広く銅および銅合金ワイヤービレットを生産しており、年間生産能力は 25 万トンです。今回新設される圧延機 SCR-7000 は直径 8、9.5、12.7、16 および 18 mm の銅棒を生産可能で、8 mm 銅棒の生産能力は毎時 48 トン、年間生産能力は約 31 万 5 千トンです。

サウスワイヤ社は米国ジョージア州のキャロルトンに拠点を置く北米最大の電線・ケーブルメーカーで、サウスワイヤ社は子会社と共に、ビル用の電線とケーブル、メタルクラッドケーブル、ポータブルコードおよび電子機器用コードの各製品、OEM 供給している電線製品および高品質製品の製造を行っています。プライメタルズテクノロジーズは、過去 50 年間に渡ってサウスワイヤ社の顧客向けに 110 基以上の非鉄圧延機を製作し、約 40 基の改造を行ってきました。

今回、プライメタルズテクノロジーズは、13基のスタンドを装備したモルガン・ノーツイストミル（Morgan No-Twist mill）、24インチの入側シャー、中間シャー、搬送および洗浄システム、2基のピンチロール、銅棒用コイラー（巻取機）、コイル用の油圧式コンベヤシステム、および2基の潤滑油システムを含む圧延設備のエンジニアリング、そして機器の納入と据付け指導を担当します。

サウスワイヤ社は、電線・ケーブル用のタフピッチ銅（ETP 銅）と銅銀合金を生産する圧延機 SCR-7000 のエンジニアリング、納入および据付け指導を担当します。

No-Twist は、プライメタルズテクノロジーズの登録商標です。



銅棒圧延機 SCR-7000。

他言語（英語・ドイツ語・中国語・ポルトガル語・ロシア語）による（プレスリリース及び資料は、以下の URL よりご覧になれます。 [www.primetals.com/press/](http://www.primetals.com/press/)

**報道関係お問い合わせ先:**

プライメタルズ テクノロジーズ ジャパン株式会社 社長室（広報担当：山下）  
〒733-8553 広島市西区観音新町四丁目 6-22 三菱重工業（株）広島製作所内  
電話 082-291-2181

プライメタルズ テクノロジーズ 公式ツイッター: [twitter.com/primetals](https://twitter.com/primetals)

**プライメタルズ テクノロジーズ (Primetals Technologies, Limited)**は本社を英国・ロンドンに置き、金属鉄鋼産業における、エンジニアリング及びプラント建設全般の世界的リーダーかつライフサイクル・パートナーです。当社は電機、オートメーション及び環境の総合ソリューションを含めた技術、製品、サービスの一式を提供しており、鉄鋼のあらゆる分野を網羅するだけでなく、非鉄分野でも最新の圧延ソリューションをお届けします。当社は、株式会社日立製作所ならびに株式会社 IHI が資本参加している三菱日立製鉄機械と、シーメンス・グループのシーメンス VAI メタルズテクノロジーズ社の統合により発足した三菱重工のグループ会社です。出資比率は三菱日立製鉄機械が 51%、シーメンスが 49%です。従業員数は全世界で約 7,000 人。詳しくは、下記 URL より当社公式ウェブサイトをご覧ください。

公式ウェブサイト: [www.primetals.com](http://www.primetals.com)